

《2019年度の状況》

内容：大学の法医学教室をはじめとする地域内の医療機関等との連携を図り、検査・解剖の受入確保等に努める。
実績：関係大学に本事業の必要性と取組み内容案を説明するとともに、連携協力を依頼。※現在、調整中。

《2020年度取組み案》

- 死亡時画像診断(Ai)等の受入協力機関を確保するため、大学と連携し、医療機関に対し、専門医による受入時の助言等を行うとともに意向調査を行い、承諾を得た医療機関を協力機関として登録、関係機関に情報提供を行う。
- 進め方：堺・泉州地域の医療機関を対象にモデル的に意向調査等を行うとともに、運用上の課題を整理する。

<事業イメージ図>

